

2020年1月28日
東日本旅客鉄道株式会社
横浜支社

南武線「小田栄駅」本設化のお知らせ

2016年3月に開業いたしました南武線小田栄駅について、新駅設置の効果が認められましたことから、2020年3月14日（土）より本設化いたします。

本設に伴い、小田栄駅をご利用になれる場合は、小田栄駅発着の乗車券類が必要になります。

引き続き、皆さまにご愛顧いただける駅づくりを目指してまいります。

1 本設日

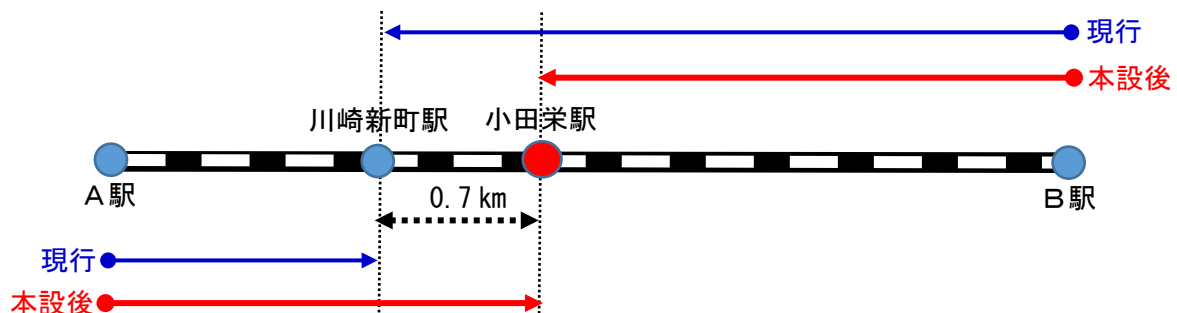
2020年3月14日（土）

2 運賃について

現行、小田栄駅をご利用の際の運賃は、川崎新町駅と同額とし、川崎新町駅発着の乗車券類を発売しておりますが、本設日より、営業キロに基づいて運賃を収受いたします。

○川崎新町駅の運賃と同額とみなす取扱いを終了いたします。

○本設日より、小田栄駅から（まで）ご利用になる場合、川崎新町駅ではなく小田栄駅を有効とする乗車券・定期乗車券をお求めください。なお、川崎新町駅を発着とする定期乗車券で、経路に小田栄駅を含んでいない場合は、別途精算が必要になります。



例えば、これまでではA駅から川崎新町駅までの定期乗車券は小田栄駅で下車することができましたが、本設日以降、A駅から川崎新町駅までの定期乗車券にて小田栄駅で下車する場合、別途運賃の精算が必要になります。Suica等のIC定期券でご利用される場合、自動改札機等でSF（チャージ）残額から運賃（川崎新町・小田栄駅間のIC運賃136円）が自動精算されます。

【参考】

(1) 本設日以降、小田栄駅から主要駅までの普通旅客運賃について

① 差額が発生しない区間の一例 ※上段:きっぷ運賃 下段:IC運賃 (単位:円)

対象駅	現行	本設日以降	差額
尻手	140	140	0
	136	136	0
川崎新町	140	140	0
	設定なし	136	—
川崎	160	160	0
	157	157	0

② 差額が発生する区間の一例 ※上段:きっぷ運賃 下段:IC運賃 (単位:円)

対象駅	現行	本設日以降	差額
熱海	1,690	1,520	▲170
	1,694	1,518	▲176
鶴見小野	170	160	▲10
	168	157	▲11
扇町	160	140	▲20
	157	136	▲21
武蔵中原	170	220	50
	168	220	52
稲城長沼	400	480	80
	396	473	77
新橋	310	400	90
	308	396	88

(2) 本設日以降、小田栄駅から主要駅までの通勤定期旅客運賃について (大人1ヵ月)
 ※ 川崎新町・尻手 (・川崎) 経由で算出しています。 (単位:円)

対象駅	現行	本設日以降	差額
尻手	3,950	3,950	0
武蔵小杉	5,270	5,270	0
立川	18,220	18,650	430
川崎	4,940	4,940	0
品川	9,220	9,220	0
東京	11,850	11,850	0
横浜	6,580	6,580	0
大船	16,550	16,800	250